

ぼうけんの森



山形市少年自然の家に

寄せる思い

教育長 後藤 恒裕

「いのちとたましいの教育」これがこれまで八年間の教育長としての私の教育理念を支える柱になってきたものです。その中心に存在するのが、有形無形のいのちやたましいに対する「畏敬の念」です。

私が子供のころは、幼稚園に通う子供は極めて稀で、ほとんどの子どもは、東の山から西の山まで、野山を駆け巡って過ごしていました。大自然の懷に抱かれながら、山の幸や小動物との触れ合いがあり、それはそれは楽しい時間でした。

年長者が年少者の面倒を見ることも当たり前の世界でした。川でおぼれかかった私を助けてくれたのも、年長者でした。正にいのちの恩人です。ハチに刺された時の応急処置の仕方、ケンカの仲裁をしてくれたのも、食べられる木の実や植物を教えてくれたのも年長者でした。ですから、年長者は尊敬に値する大きな存在だったのです。

いのちの大切さは、子供時代の適切な時期に、植物や昆虫と戯れ、時にはそのいのちを奪う体験から学びます。「いのちは奪えても、そのいのちを自分で生み出すことはできない。」ということが自然に身に染みてくるのです。荒れ狂う大自然の驚異の中で、人知を超えた畏敬の念を体得します。危険を回避する能力もある程度の危険を体験しなければ、獲得することができません。

残念ながら、これらの大切な精神や能力、そして生活の知恵を体験的に得ることが難しくなっています。また、子どもたちの安全を担保しながら、多様な有益な活動を仕組むための「場の確保」も難しくなっています。そこで少年自然の家なのです。

学校と協力し合いながら、変化にとんだ、面白い体験が溢れんばかりに用意されています。施設や自然を利用して、自分たちの手でプログラムを考えることもできます。職員や若いボランティアの学生さんたちも相談に乗ってくれるし、一緒に活動もしてくれます。自主事業へのリピーターが増えていることも頷けます。少年自然の家での体験を通して、自分のいのちは自分だけのものではないということ。他の多くのいのちに支えられているということ。学ぶことができたなら、それは、一生の宝になることに間違いありません。

事業

7/31～8/2 サマーキャンプ



食材オリエンテーリングでカレーの具材をゲット



マルチアスロンで協力プレイ



6/7 親子トレッキング
(H28 年度より親子お泊り体験教室)



山形の自然に詳しくなりました

6/27～28 キッズキャンプ①



東黒森山 登頂



いかだに乗って
どこまでも

①7/25②7/26③8/2 森の昆虫見つけ隊



二人とも真剣です



①6/14②9/13③11/8 プラネタリウム一般公開



季節ごとに変わる夜空を満喫

主催

11/1 親子そば打ち道場



全部自分で作る だから美味しい!!

12/25~27 スノーキャンプ



念願の雪遊び♪



夜はキャンドルサービス



2/6~7 キッズキャンプ②



ド迫力の20人チューブすべり



9/13 オープンデー (H28 年度より秋祭り)



カいっばい飛ばせ 丸太投げ



オペレッタ公演

10/10 秋の森で遊び隊
(H28 年度より親子お泊り体験教室)



第1回目

～自分のめあてを決めよう～



山形市少年自然の家
マスコットキャラクター
「やまっち」です

第29期

少年団活動

第2回目

～キャンプの基本を覚えよう～



第3回目

～白鷹山で野宿をしよう～



第4回目

～ミステリーツアーに挑戦しよう～



第5回目

～炊飯名人になろう～



第6回目

～雪の上でテントに泊まろう～



第7回目

～成長を実感しよう～



私は、白鷹山に向けて出発する前、こんなに登るのが大変だとは思っていませんでした。山を登って登って、苦しくなってきました。足も、ぼうのようになっちゃいました。それでも、ふんばって、やっと頂上に着きました。シュラフを用意して頂上で野宿をしました。下山でつらくなってきた時も、登りのように、一生けんめい歩いていて、やっと自然の家に帰ってきました。この時に、私は、「何でもかたんにあきらめない」という目標を達成しました。

少年団参加者 しっちゃん（菅野志帆）

キッズキャンプ②参加者 えみちゃん

（長澤パティ瑛美）

今まであまり星にきょうみを持っていなかったけれど、プラネタリウムで、私が知らなかったほくと七星や大ぐまぎ・子ぐまぎを見て、「もっといろいろな星を見たい。」と思いました。また、ラングラウフスキーをすべりながら、リスやウサギの足あとを追っていくなどして、ふだんできないことができてよかったです。

最初は、友達ができるか不安でしたが、三日間、班の友達と過ごして楽しかったです。今回のキャンプは、班で考える活動が多くありました。室内運動会の話し合いでは、ルールや得点について意見を出し合いました。他の班の人にも楽しんでもらえたのでよかったです。クリスマスキャンドルパーティーの出し物も、班で何回も練習して、上手に発表することができました。班で協力した三日間は、冬休みの思い出になりました。
スノーキャンプ参加者 ゆうちちゃん（小林勇輝）

サービスセンターの四季

いろいろな動植物が見られるよ！

キツネのあしあと

雪遊び

冬

春

秋

夏

コフシ

カタクリ

ミヤマカタバミ

モリアオガエルの産卵

カワラナデシコ

森の昆虫見つけ隊

アサギマダラ

オミナエシ

キキョウ

サービスセンター



常設コーナー



昆虫標本

水生生物



平成 28 年度『主催事業』の予定

市内から集まる同じメンバーで
1泊2日の研修を年7回実施

第30期 少年団

【期 日】 ①5/28(土)29(日) ②7/2(土)3(日) ③8/6(土)7(日) ④9/24(土)25(日) ⑤10/22(土)23(日) ⑥1/14(土)15(日) ⑦2/25(土)26(日)
【定 員】 小学4年 40名程度
【活動内容】 季節に応じた魅力的な自然体験活動や少年団でしかできない貴重な協同体験活動を数多く企画します。
【募集期間】 平成28年 3/1～4/30 広報やまがた3/1号掲載

「主体性」「人とかかわる力」
「リーダー性」が高まります

夏

親子 お泊まり体験教室

【期 日】 6/4(土)～5(日) 1泊2日
【定 員】 小学1,2年児童の親子 25組程度
【内 容】 親子自然散策、親と離れて宿泊体験、
親VS子 グルメ対決 など
【募 集】 5/1～5/17 広報やまがた 5/1号掲載

わくわく キッズキャンプ ①

【期 日】 6/25(土)～26(日) 1泊2日
【定 員】 小学3,4年児童 30名程度
【内 容】 炊飯活動、キャンプファイヤー、
いかだアドベンチャー など
【募 集】 5/16～6/7 広報やまがた 5/15号掲載

わんぱく サマーキャンプ

【期 日】 7/29(金)～31(日) 2泊3日
【定 員】 小学4年～中学3年 30名程度
【内 容】 食材探しオリエンテーリング、テント泊、
炊飯活動、キャンプファイヤー、
うどん打ち、班対抗体験的ゲーム など
【募 集】 6/15～7/10 広報やまがた 6/15号掲載

プラネタリウム一般公開 ①

【期 日】 6/12(日)
【定 員】 幼児・小学生以上の部 各60名程度
【内 容】 生演奏を交えて、春・夏の星座の話や宇宙
の神秘を紹介します。
【募 集】 5/16～6/5 広報やまがた 5/15号掲載

森の昆虫見つけ隊

【期 日】 7/23(土)・7/24(日)・8/7(日)から選択
【定 員】 小学3年～中学3年までの親子
【内 容】 オニヤンマやバッタ・エゾゼミ等を採集し、
その後、専門家より標本づくりを学びます。
【募 集】 6/15～7/6 広報やまがた 6/15号掲載

◆ボランティアスタッフセミナー

【期 間】 5/7(土)～8(日)
【対 象】 自然の家の事業に興味のある大学生
【内 容】 ・ボランティアスタッフの役割(講義)
・施設見学
・実技研修 など

秋

冬

自然の家『秋祭り』

プラネタリウム一般公開 ②

【期 日】 9/11(日)
【定 員】 どなたでも参加できます。
【内 容】 プラネタリウム、クラフトコーナー、
おいしい秋コーナー など
【詳 細】 広報やまがた 8/15号掲載

プラネタリウム一般公開 ③

【期 日】 11/6(日)
【定 員】 幼児・小学生以上の部 各60名程度
【内 容】 生演奏を交えて、秋・冬の星座の話や
宇宙の神秘を紹介します。
【募 集】 10/1～10/30 広報やまがた 10/1号掲載

わくわく キッズキャンプ ②

【期 日】 2/4(土)～5(日) 1泊2日
【定 員】 小学3,4年児童 30名程度
【内 容】 冬の自然散策、チューブ滑り、
手作りアイスクリーム など
【募 集】 1/4～1/17 広報やまがた 1/1号掲載

親子 そば打ち道場

【期 日】 10/30(日)
【定 員】 中学3年までの親子15組程度
【内 容】 竹を使ったMy箸・Myそば猪口づくり、
そば打ち、そば試食会 など
【募 集】 9/15～10/12 広報やまがた 9/15号掲載

わんぱく スノーキャンプ

【期 日】 12/25(日)～27(火) 2泊3日
【定 員】 小学4年～中学3年 30名程度
【内 容】 雪上オリンピック、餅つき、門松作り、
X'masキャンドルパーティー、
しめ縄作り など
【募 集】 11/15～12/6 広報やまがた 11/15号掲載

◆自然の家 ゲレンデ OPEN

【期 間】 1/5(木)～3/5(日)
【閉所日】 1/10(火)・2/13(月)・2/27(月)は休み
【内 容】 ・そり(各自持参ください)
・チューブ(無料貸出をします)
・スキー(各自持参・ロープトウ無料)
・ラングラウフスキー(小中学生無料)
【詳 細】 広報やまがた 1/1号掲載

ボード等
滑走禁止

指導者を対象とした「利用指導者講習会」

◆小中学校・幼稚園・保育園の先生方…夏期:4/21(木) 秋期:8/18(木) 冬期:11/11(金)

◆子ども会等の指導者の方々…5/22(日)

山形市少年自然の家 所報 第41号

「ぼうけんの森」

平成28年3月発行

住 所 〒990-0361 山形県東村山郡山辺町大字畑谷字板橋 3725
電 話 【本館事務室】 023-643-8533 FAX 023-643-8574
【サービスセンター】 023-643-8633
URL <http://www.ymgt.ed.jp/shizennoie>